

見つけられるかな？

黒川に住んでいる生き物たち

★ そこここみつかる
★★ みつけたらラッキー
★★★ みつけたらみんなに自慢しよう！

レア度

川に入るとき約束

● 川で遊ぶときは
大人と一緒に入しましょう

● 生き物は
大切にしましょう

● 黒川で捕まえた生き物は
持ち帰ってはいけません

さかな

オイカワ

体長:16センチくらい



別名シラハエ。
メスが卵を産むころには、
オスのからだは美しくなる。

ドジョウ

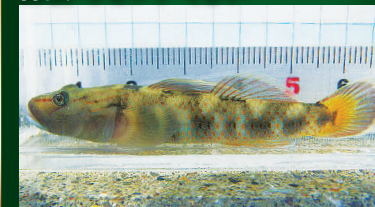
体長:10センチくらい



きれいな砂に潜りながら暮
らしており、10本のヒゲを
使い砂の中にあるエサを
探して動き回る。

ヨシノボリの仲間

体長:5センチくらい



稚魚が濡れた岩場をのぼ
ることがあり、その様子から
「ヨシにも登る」という意味
でこの名前がついた。

カマツカ

体長:20センチくらい



川底にある砂の中で暮ら
している。餌を食べるときは
下に向けた口で、砂ごと吸
い込む。

ギンブナ

体長:30センチくらい



青みがかった銀色をして
いて、日本のたくさんの川に
いる魚。金魚の祖先と言わ
れている。

ナマズ

体長:3～30センチくらい



昼間は流れのゆるやかな
場所にいて、水底の岩や
水草の陰などに身を潜め
ている。

とり

サギの仲間

体長:60センチくらい



くちばしが黒く、足の指が
黄色い。歩きながら、水
の中にいる魚や昆虫などを
食べている。

カルガモ

体長:30センチくらい



春から夏にかけてたまごを
産む。夏になるとたくさんの
ひなをつれて、泳いでいる。

そのほか

モクズガニ

体長:5～10センチくらい



はさみに生えるやわらかい
毛が藻みたいに見えること
から、モクズガニと呼ばれる。

ヌマエビの仲間

体長:3～5センチくらい



ミナミヌマエビなど複数種
が生息している。他の生き
ものに捕食されないように
水草などに隠れている。

ヤゴの仲間(イトンボ)

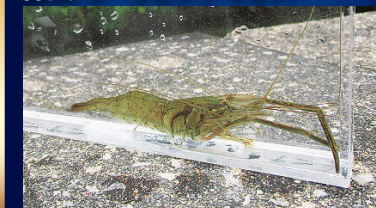
体長:3センチくらい



イトンボの子ども。体が細
長く伸びている。成虫にな
ると黒い羽が綺麗なハグロト
ンボなどの種類が見られる。

テナガエビの仲間

体長:3～5センチくらい



暖かい地域の川などで見
られる。明るい時間は石や
草のカゲに隠れており、夜
になると活発に活動する。

外来種

コイ

体長:60センチくらい



大きくて存在感があるが、
水生植物や貝類などを食
べすぎてしまい生態系に影
響を与えている。

ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)

体長:20センチくらい



川に放たれて野生化したものが
増え、雑食性で水草や様々な
水生生物を捕食するため、放流
や販売、輸入が禁止されている。

アメリカザリガニ

体長:15センチくらい



水生植物、両生類などの捕食、
生息環境の改変など深刻な
影響を与えており、放流や販
売、輸入が禁止されている。

カダヤシ

体長:5センチくらい



メダカとは尻ビレの形が違う。
蚊を減らす目的で放流された
が、野生化して増殖した結果、
生態系に影響を与えてしまった。

外来種

人間によって本来の生息地から離され、
野外へ放たれた生きものの種類のこと。

特定外来生物とは、外来種の中でも、
農林水産業や人の生命・身体、生態系
へ害を与えるものや、与える恐れのある
ものとして指定されている動植物たちを
いいます。特定外来生物は、売ったり、野
外に放したり、持ち帰ると罰則があります！

※) 特定外来生物のうち、一部の規制がかから
ない生き物

